# 庁舎、議会ホール、大口ふれあいセンターの3棟が相乗的に連携する ~デッキが各棟をつなぎ、公園広場が敷地全体を一体化する

1~3 の基本コンセプトをもとに提案します。

## コンセプト1 あるものを活かし、ないものを創る

本敷地は大口ふれあいセンターやスクエア広場等が立ち並び、新たに庁舎棟と議会ホール棟が加わって、新しいまちの顔となるシンボルを生み出します。開放的な公園広場がそれらを一体のものとして結びつけ、デッキが3棟をつなぐと共に、地上に良好な日陰、雨宿り空間を生み出します。既存棟や近隣、周囲の山並みなどに配慮した低層とし、かつ議場を分棟とすることで周囲に溶け込むボリュームにします。

ふれあいセンターの利用状況に鑑みて、新庁舎との相互利用 や相乗効果などを生み出すよう努めるほか、現菱刈庁舎の活 用に関しても検討して参ります。

## 【1)一① 市民に開かれた親しまれる庁舎】

## 01 市民生活の舞台となる庁舎

- 市民に親しまれる庁舎となるには、行政手続きのためだけでなく、日常的に市民の憩いの場になることが必要です。公園を囲んで、コミュニティスペースや市民ギャラリーを設けることで、市民が様々な活動のために気軽に庁舎を訪ねられるようにします。
- ・議会閉会期間には、議会棟の1階と2階の議場は市民に開放 可能です。分棟にすることで閉庁後の利用でも、セキュリティ の確保や光熱費の節約が果たせます。
- ・ふれあいセンターにある文 化的な機能とあわせて「市民 活動の拠点」として充実し、こ の場所の求心力を高めます。\_



#### 【1)-② アクセス利便性の高い庁舎】

## 02 アクセスのしやすい配置計画

- ・駐車場を敷地の西側・北側にL字型に配置し、利用する棟の直近に駐車できます。一部を屋根下の駐車スペースとして、車椅子、思いやり駐車に利用します。
- 車回しは2棟間のデッキ下に設け、雨に濡れずに各棟へアクセス可能とします。歩車を完全に分離します。
- スクエア広場に路線バスの停留所を設けるほか、公用車を含めた敷地内の駐車台数も協議により検討します。

## 【1)一③ ユニバーサルデザインに配慮した庁舎】

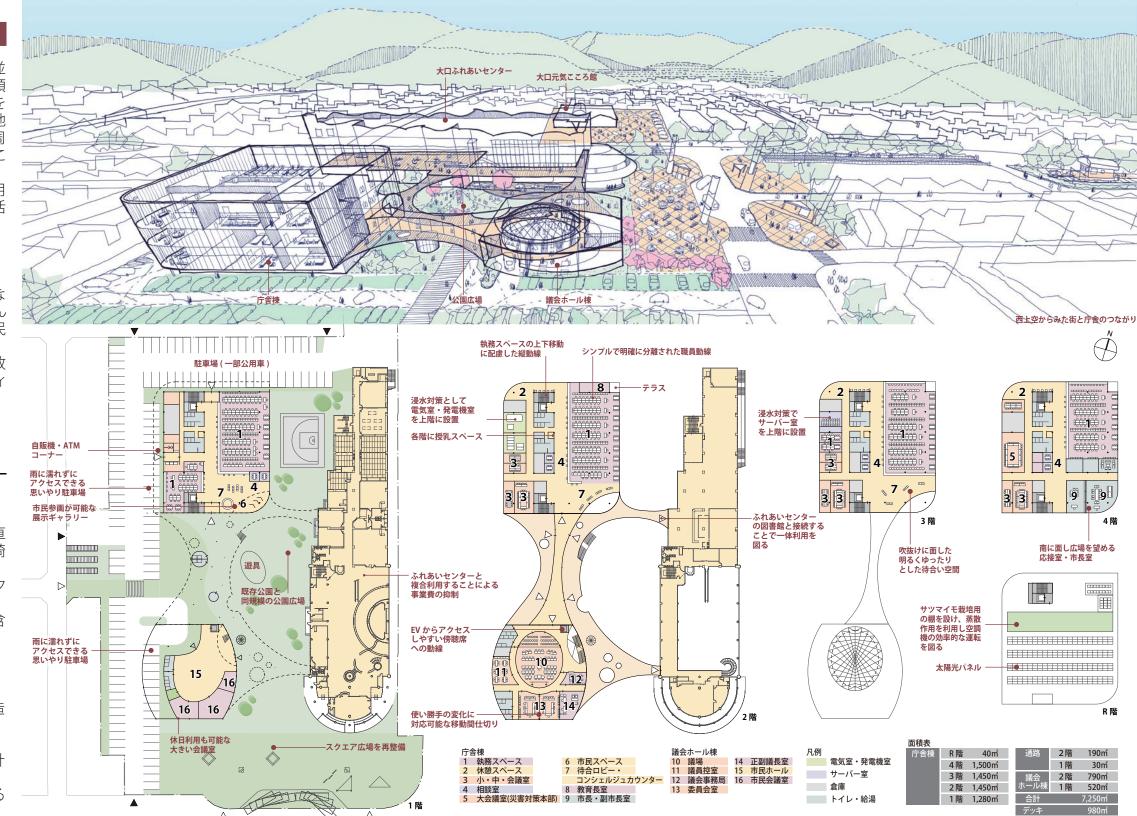
# 03 来庁者にも職員にも優しい庁舎

- 駐車場、バス停からエントランスまでの床面はフラットな構造とし、スムーズな動線を確保します。
- 車椅子用駐車場はエントランス付近に配置します。
- ユニバーサルデザインを考慮した寸法計画、トイレ・サイン計画、点字・音声装置の採用等を行います。
- ・働く人々の健康を重視し、身体を動かしてリフレッシュできる 仕掛けをつくる等、快適に働ける空間づくりをします。

#### 【1)一④ 市民に信頼される開かれた議会としての空間】

## 04 市民が積極的に利用できる開かれた議場

- ・議会関連諸室は議会ホール棟2階に集約して利便性を高めます。
- 議場は、フラットな床と可動式の家具にすることで、閉会時は 市民が利用でき、避難場所としても使用できます。
- 傍聴席は高齢者や障がい者に配慮した設備・動線とします。
- 委員会室等も柔軟に運用できる作りとします。
- ・庁舎での市民活動が議会傍聴のきっかけとなり、市民にとって議会がより身近なものとなることが期待できます。



### 【2)一① 分かりやすく利用しやすい庁舎】

## 05 みんなに優しい新世代の窓口業務

- 初めての来庁者にも分かりやすい配置、動線、サインの計画を行います。
- 「ワンストップサービス」を超える、ポストコロナを見据えた「ラウンジ型行政サービス」の導入を視野に入れます。
- ・コンシェルジュは来庁者のニーズに応じて関連する部署を つなぎ、対面もしくはオンラインによる相談を取り次ぎます。
- プライバシーに配慮した相談室配置やブース設置等、利用者の目線で計画します。

#### 【2)一② だれもが分かりやすい情報を受け取ることのできる庁舎】

## 06 情報を受け取り発信できる拠点

- ・まちづくり団体や市民同士の情報交換や情報発信が 行えるよう、庁舎棟南東の角・議会棟1階に情報スペー スを設けます。
- ・リフレッシュコーナーや打ち合わせコーナー等、市民 協働のきっかけとなる場を設けます。
- ・ふれあいセンターと連携し、歴史・文化・観光情報などが気軽に入手できるようにします。

#### 【2)一③ 効率的・効果的で柔軟性の高い執務空間】

## 07 効率の良い合理的な執務空間

- 執務エリアをまとめ共有スペースを集約することで、自由なオフィスレイアウトが可能となる上、合理的な面積配分でコストダウンを図ります。
- •OAフロアの採用で配線の更新も容易になります。
- ・業務に応じてカウンター形状を工夫すると共に、打ち合わせ スペースを充実し、他部署との連携を促進します。
- エリアに応じてセキュリティレベルを高める仕様をすることで、機密度の高い保管文書等の管理も徹底します。